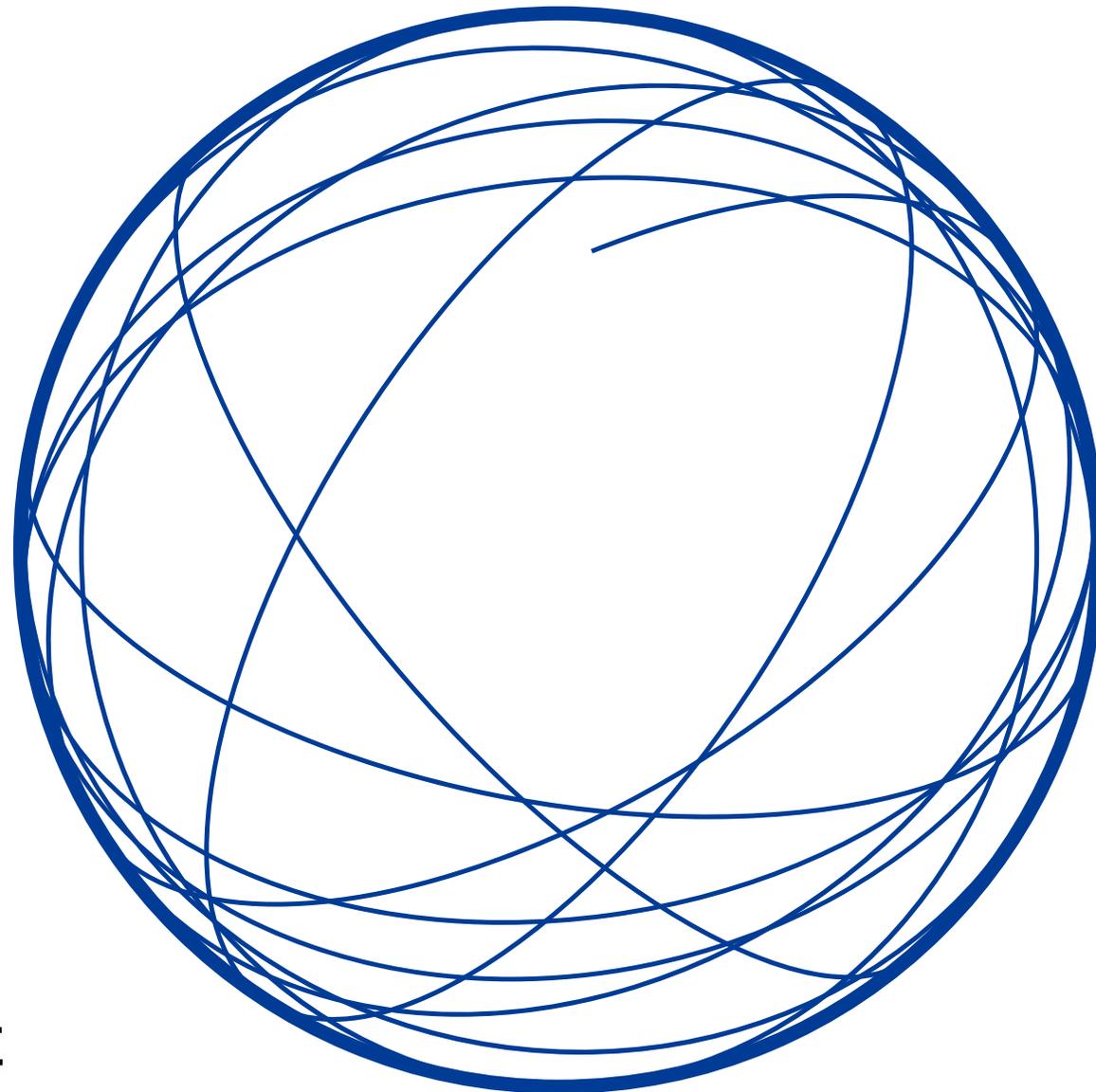


第13期

定時株主総会

Dexerials

デクセリアルズ株式会社

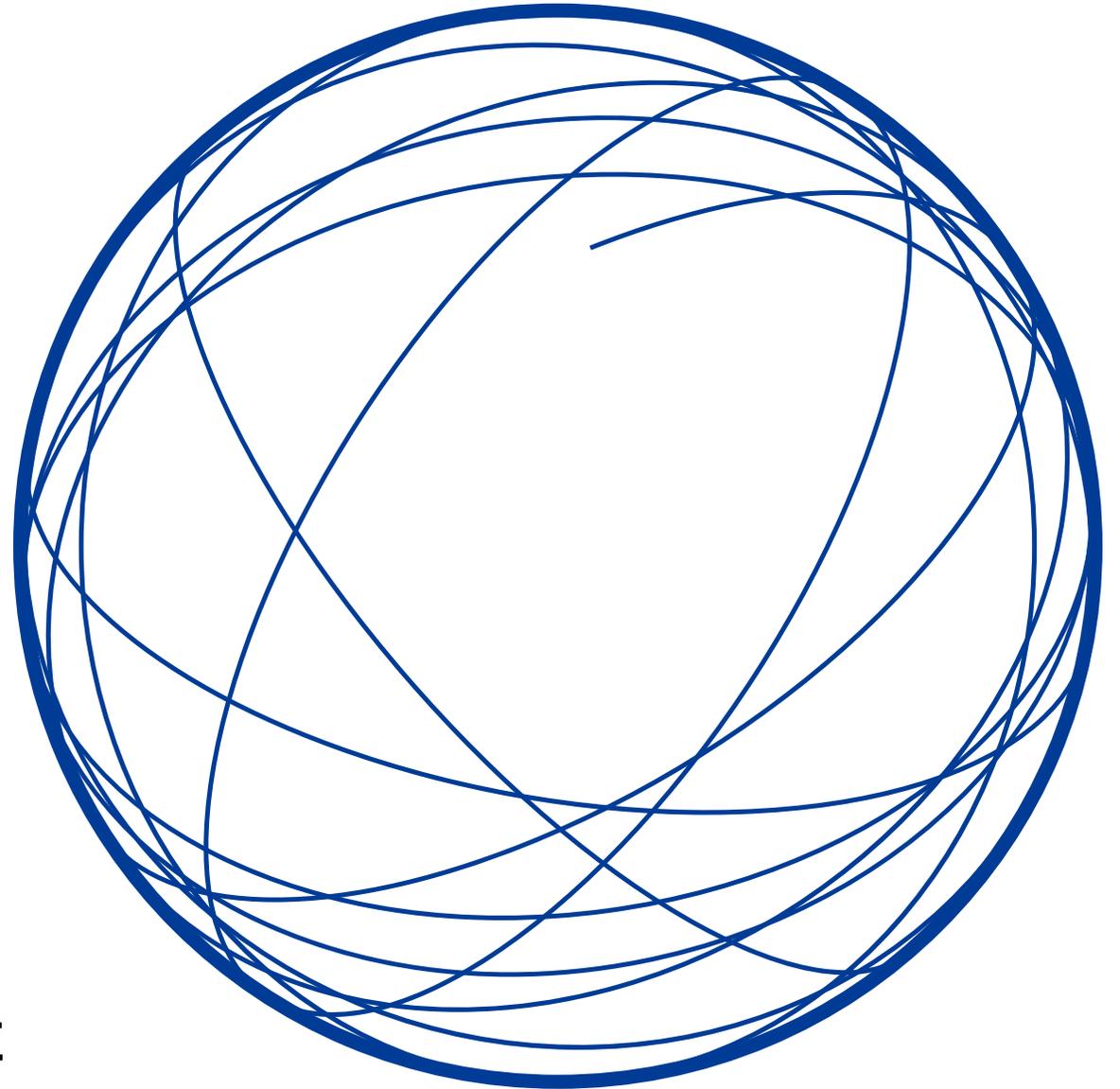


第13期

事業報告

Dexerials

デクセリアルズ株式会社



事業の経過および成果



当期の連結業績



(単位:百万円)

区分	前期	当期	前期比
売上高	105,198	110,390	+4.9%
事業利益	34,086	38,068	+11.7%
営業利益	31,884	39,735	+24.6%
親会社の所有者に帰属する 当期利益	22,575	27,737	+22.9%



米政権の相互関税を含む
諸政策による
景気後退懸念



ロシア・ウクライナ情勢、中東紛争等
地政学リスク
の高まり



為替動向の
不安定さの継続

先行き不透明な状況が続く

主要製品市場



スマートフォン・タブレット



堅調に推移 ➡

中国及び韓国のスマートフォン
OLEDディスプレイ
への移行が継続

ノートPC



好調に推移 ↖

コロナ禍に伴う
在宅需要で購入された製品
買い替え需要

自動車



横ばい ➡

中国メーカーの
販売は拡大

当期の連結業績



変化に強い体質に進化するべく、事業ポートフォリオの拡大を推進

成長領域

自動車事業

製品の販売を拡大

フォトニクス
事業

光トランシーバー用製品の
新規顧客を開拓

既存領域

テクノロジーの進化を先回りした
製品の開発・提案

高付加価値製品の販売拡大

差異化技術製品の販売拡大



反射防止フィルム



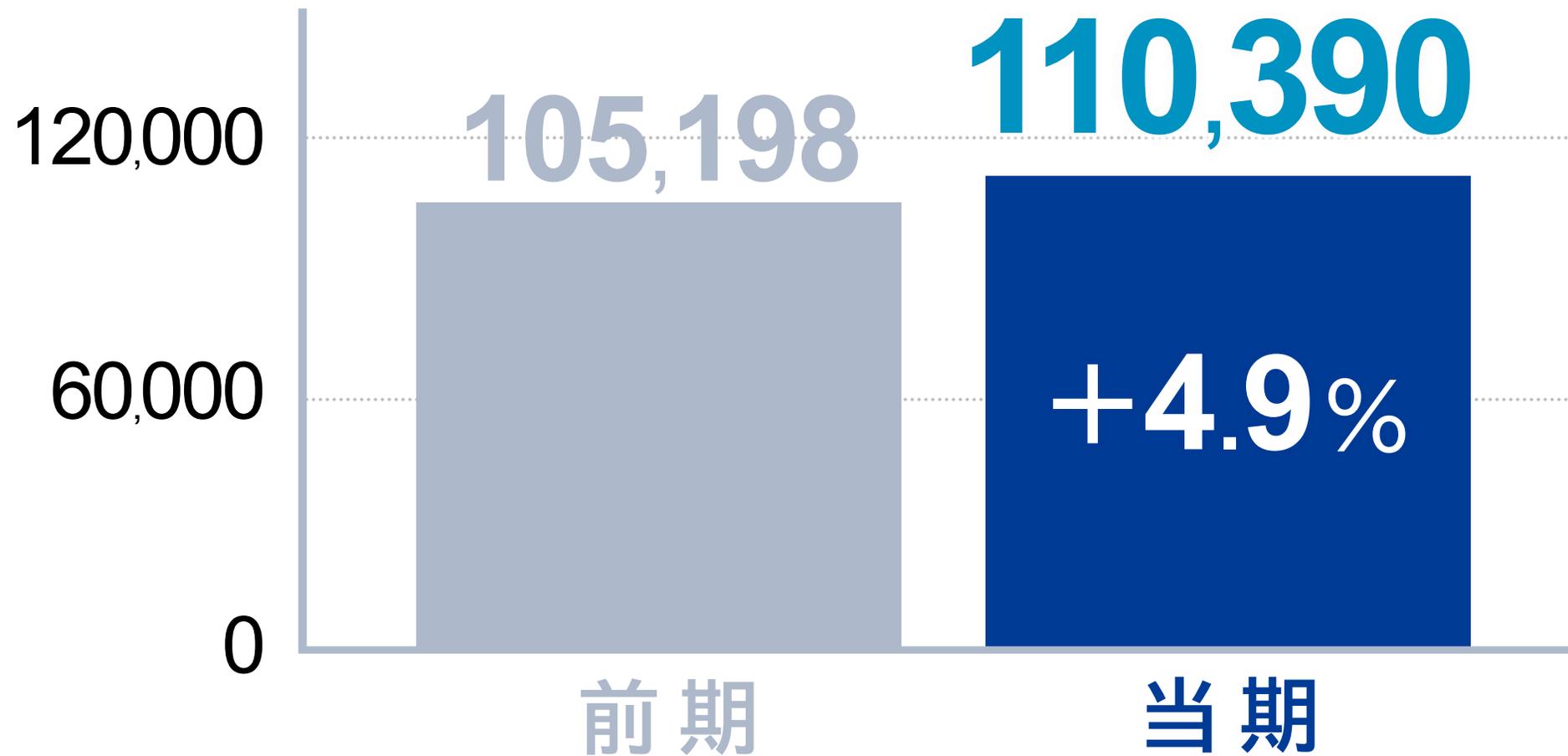
異方性導電膜
(ACF)

当期の連結業績



売上高

(単位:百万円)

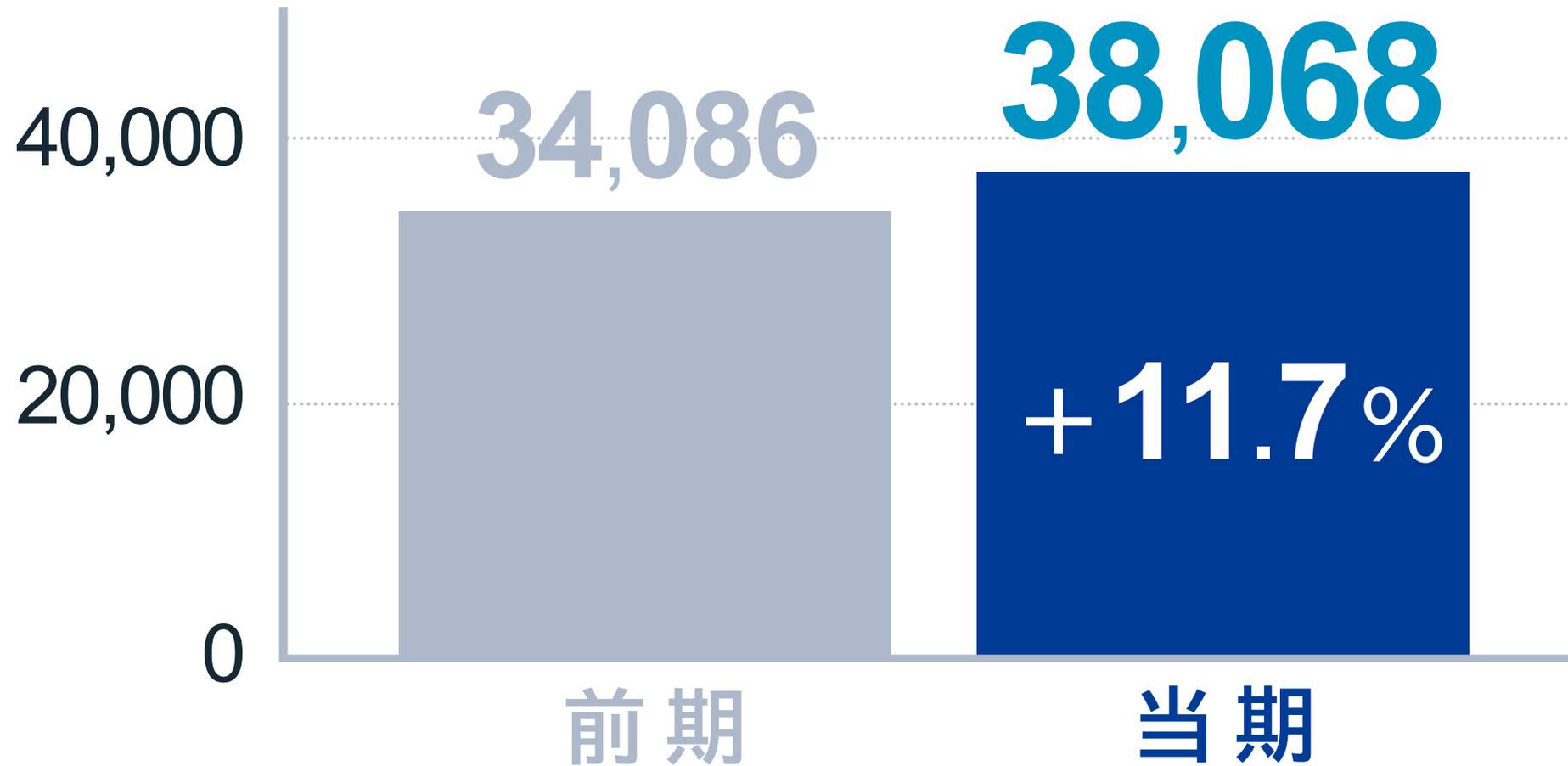


当期の連結業績



事業利益

(単位:百万円)

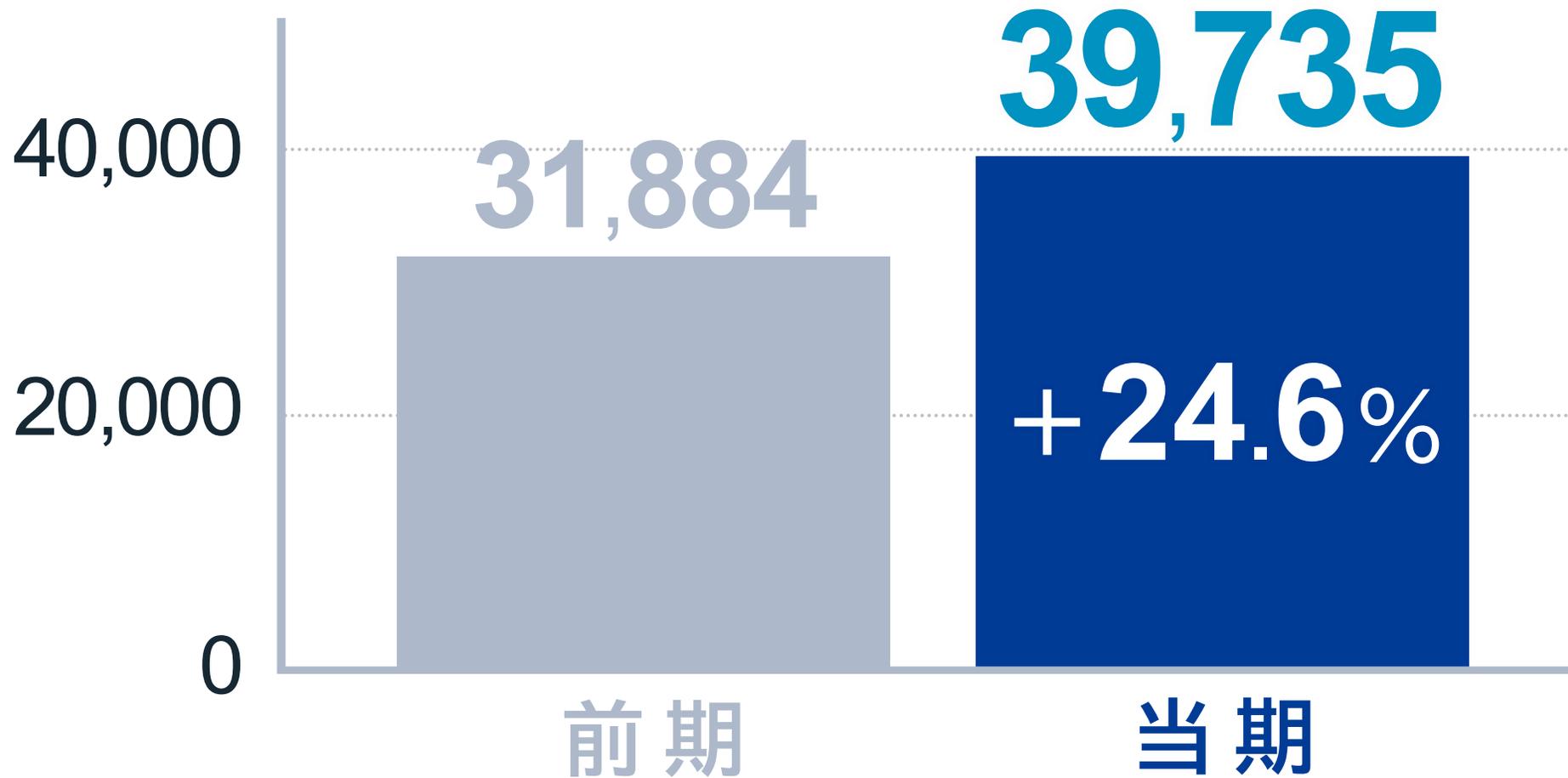


当期の連結業績



営業利益

(単位:百万円)

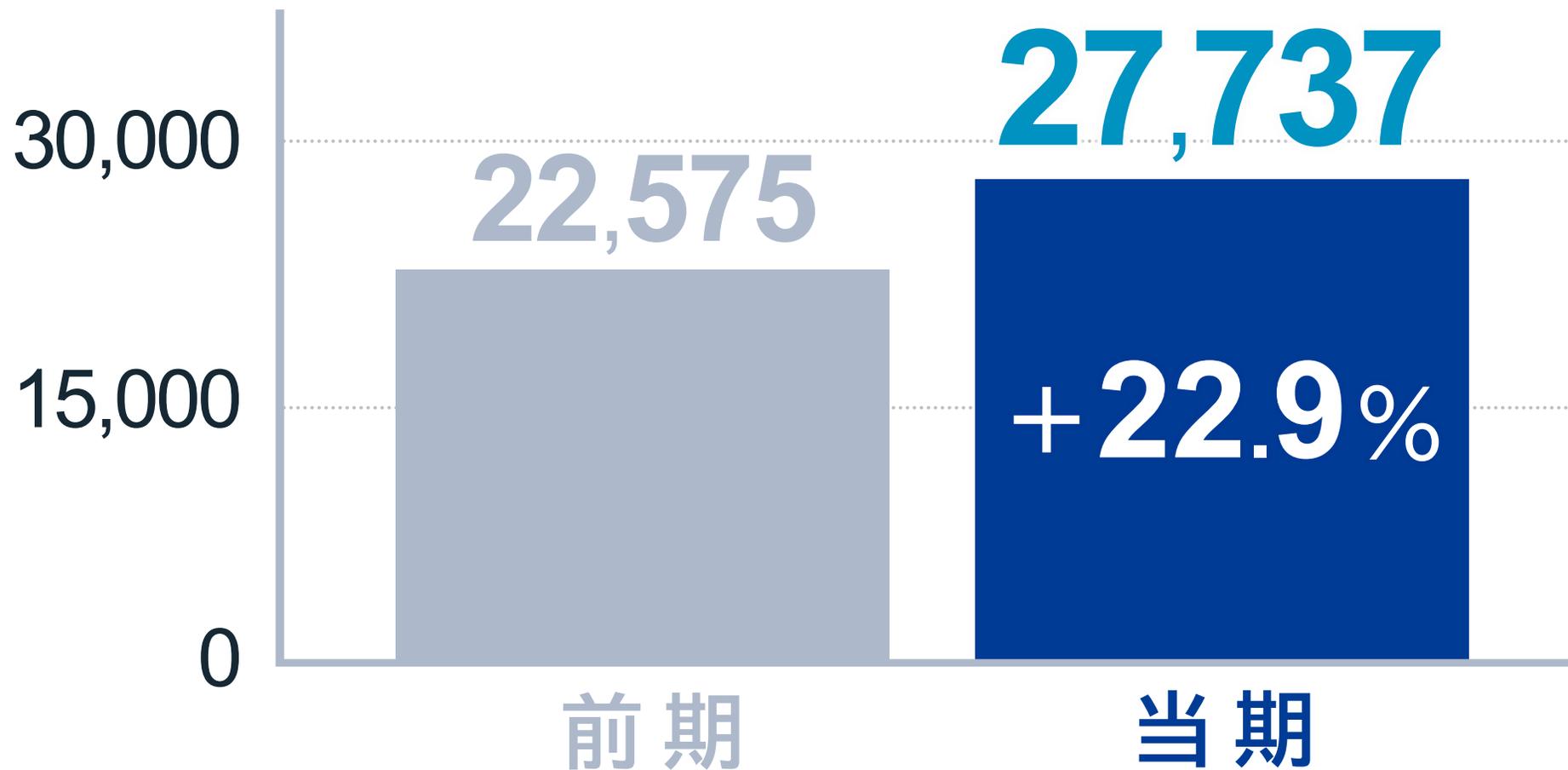


当期の連結業績



親会社の所有者に帰属する当期利益

(単位:百万円)



セグメントおよび 製品カテゴリー別の業績



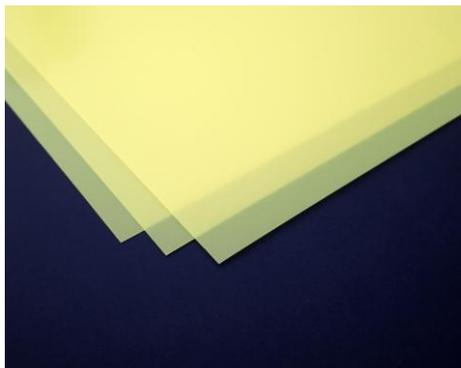


(単位:百万円)

区分	前期	当期	前期比
売上高	51,453	50,647	▲1.6%
事業利益	15,256	14,556	▲4.6%



反射防止
フィルム



蛍光体
フィルム



光学弾性樹脂
(SVR)



精密接合用樹脂

光学フィルム

- ノートPC用ディスプレイ向け製品が好調
- 車載ディスプレイ向け製品が増加
- 蛍光体フィルムが販売終息

減収減益

光学樹脂材料

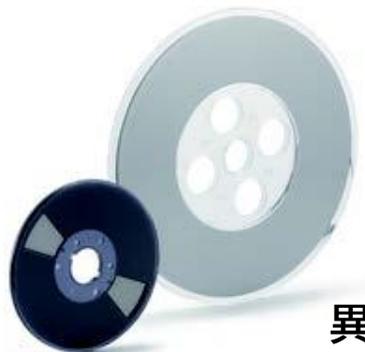
- 光学弾性樹脂が堅調に推移
- ハイエンドスマートフォン向けのセンサー関連製品の数量が減少

増収減益



(単位:百万円)

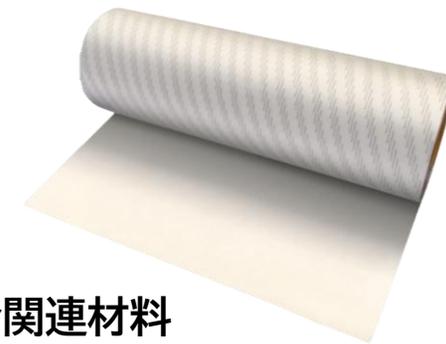
区分	前期	当期	前期比
売上高	54,387	60,434	+11.1%
事業利益	18,830	23,511	+24.9%



異方性導電膜

表面実装型
ヒューズ

光半導体



接合関連材料

異方性導電膜
(ACF)

- スマートフォン向け粒子整列型ACFの拡大が継続

増収増益

表面実装型
ヒューズ

- 電動工具向け製品の主要顧客の在庫調整の終了
- 新規案件の獲得

増収増益

フォトリソ

- 光トランシーバー用製品の新規顧客への出荷を開始

増収増益

接合関連材料

- ノートPC向けが前期並み

前期並み

当期の財政状態について



資産

(単位:百万円)

	前期末	当期末	前期末比
資産合計	140,373	151,821	+11,447
流動資産	69,442	63,559	▲5,883
非流動資産	70,931	88,262	+17,331

- 売却目的で保有する資産が減少
- 有形固定資産が増加
- 持分法で会計処理されている投資、営業債権及びその他の債権が増加

負債及び資本



(単位:百万円)

	前期末	当期末	前期末比
負債合計	55,251	55,905	+654
流動負債	33,692	39,270	+5,578
非流動負債	21,558	16,634	▲4,923

- 有利子負債(非流動)が減少
- 未払法人所得税、その他の金融負債、有利子負債(流動)が増加

負債及び資本



(単位:百万円)

	前期末	当期末	前期末比
資本合計	85,122	95,915	+10,793

- 利益剰余金、資本剰余金が増加

なお、連結持分変動計算書および
計算書類については、
当社Webサイトをご覧ください。

対処すべき課題

注意事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、将来に関する記述の正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があり、当社として将来計画の達成を約束する趣旨のものではありません。なお、実際の結果等にかかわらず、当社は本資料の日付以降において、本資料に記載された内容を随時更新する義務を負うものではなく、かかる方針も有していません。

本資料は株主・投資家の皆様の判断のための参考情報の公開のみを目的としており、投資に関する最終決定はご自身の責任においてご判断ください。本資料に全面的に依拠して投資判断を下すことによって生じうるいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



世界経済は先行きが不透明

当社独自のビジネスモデルである
デザイン・インで開発した
「シングルソース製品」
を数多く手がけている

大きな技術のトレンド
は変わらない

デザインインのビジネスモデルで創出する**高付加価値製品の成長**

中期経営計画の方針は変更せず、持続的成長に必要な
成長投資と高水準の株主還元の両立を進める

成長投資

- 異方性導電膜の需要拡大を見据え、新たな工場を建設中
- 光半導体の需要は中計策定時を上回り、設備投資を前倒しして供給体制を強化



鹿沼事業所 新工場
完成予定図

経営基盤 の進化

- 外部環境の変化に強い体質作りに向けて、様々な施策を実施

足元の 新規案件

- 車載ディスプレイ向け反射防止フィルム、データセンター向けの光半導体で新規案件を獲得、来期以降の成長が加速

事前質問

事前質問 ①

Q

デクセリアルズの製品について、
新たな市場の開拓ができそうな
分野があれば教えてほしい。

AIの普及に伴う光電融合技術の広がり



現在の用途

クラウドAI

データセンター



課題

電力消費量
データの大容量化



光電融合技術
の普及が不可欠

今後の用途

エッジAI

スマホやノートPC、自動車といった
アプリケーションに搭載



光半導体など当社製品の
採用拡大の余地広がる

事前質問 ②

Q

今回、代表取締役、指名・報酬委員長、
監査等委員長が交代し、取締役体制が大きく変わる
背景について教えてほしい。

会場質問

会場質問 ①

Q

会社における生成AIの活用事例や
DXの取り組みについて教えてほしい。

Q

どのような方向性で
持続的な成長を目指しているのか教えてほしい。

会場質問 ③

Q

光半導体事業について、
具体的にどのような形で成長させていくのか
教えてほしい。

Q

社長の後継者育成プログラムは
どのようなになっているのか。

後継者に求められる要件をどう考えるか。

会場質問 ⑤

Q

光半導体の強みを教えてほしい。

Q

カーボンニュートラルの取り組みについて
教えてほしい。

Q

光触媒パネルの実現可能性について
教えてほしい。

Dexerials

Empower Evolution.

つなごう、テクノロジーの進化を。

